

令和元年9月17日

2年次保護者様

千葉県立松戸国際高等学校
校長 加茂進
2年次主任 中原章子

新入試における英語民間試験への対応について

初秋の候 保護者の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、先日お子様を通じて配付しました「2020年度大学入学共通テストへの対応について」の文書でお知らせしましたように、現在2年次の生徒たちが受ける2020年度の入試が大きく様変わりします。特に、現在の「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」となり、その中でも、英語の試験において4技能（聞く・読む・話す・書く）を測るため、英語民間試験団体の行う各種検定試験が導入されることになりました。お子様が3年次になった4月から12月の間に、個人が選んだ団体の試験を年2回受け、その得点データを、大学入試センターが設けるデータベースに登録し、これを各大学が利用するという仕組みになります。また、この英語民間試験団体の試験を採用するのは、主に共通テストを採用する国公立大学、そして私立大学の共通テスト利用型試験ですが、私立大学の一般選抜や、AO、推薦などでも利用可能ということになっており、今後、各大学における採用の拡大が予想されるどころです。このシステムについては、一部報道にもありますとおり様々な課題がありますが、新文科相が実施を前提に不安を解消したいと話しており、避けて通ることはできないものと考えます。

この英語民間試験団体については6団体ありますが、どの試験を受けてもCEFRのA1～C1に換算して使用するため同等というのが文科省の考えです。本校では、すでに学校全体で、日本英語検定協会の英語検定試験（英検）を受験しておりますので、多くの生徒たちにとっては、英検は、受験しやすく検定料も安価なものの一つであると思われれます。

今回、その日本英語検定協会が、2020年度入試のための第1回英検の仮予約を9月18日から10月7日までに実施すること、そして仮予約を元に本申込みを2月9日から2月25日までに行うことが公表されました。同様に、第2回英検については、仮予約が2020年1月15日から1月27日まで、本申込みが6月20日から7月6日までに行うこととされました。しかも、仮予約をしていないと、席の確保は保証されないとのこと。仮申込みには各々3,000円かかり、生徒個人が直接申し込むことになっています。

今回の英語民間試験受験は、これがもうすでに大学入試の一部となるという大切なことです。その中でも、英検は本校生徒がなじんでいる試験でもあり、多くの大学に採用され幅広く対応できますので、今回の仮予約を強くお勧めいたします。

なお、上智大学など一部の私立大学では、その大学の出題する独自問題に傾向に近い民間試験もありますので、お子様の志望校によっては個別に相談してまいります。

* CEFR : ヨーロッパ共通言語参照枠

Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment